

## 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立修道館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	修道館は、柔道、剣道その他これらに類するスポーツの場を提供することにより、市民の心身の鍛錬に資するとともに柔道剣道等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、薙刀や弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		95.0%
達成率		118.8%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,982	16,325	97.9%
稼働率			

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	38,877,044	38,877,044	0	
	計画	38,877,044	38,877,044		
利用料金収入	実績	7,971,250	8,282,070	-528,750	熱中症警戒アラートにより、夏の利用者が減少した
	計画	8,500,000	8,500,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	5,337,795	5,154,915	-2,192,205	
	計画	7,530,000	7,530,000		
合計	実績	52,186,089	52,314,029	-2,720,955	
	計画	54,907,044	54,907,044		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	20,777,657	25,432,388	-5,562,743	職員配置変更によって減となったが職員は柔軟に行き来している
	計画	26,340,400	26,340,400		
物件費	実績	15,283,393	13,009,634	2,783,393	購入価格等が上昇している
	計画	12,500,000	12,500,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	11,989,022	9,262,649	-1,044,878	
	計画	13,033,900	13,033,900		
合計	実績	48,050,072	47,704,671	-3,824,228	
	計画	51,874,300	51,874,300		

### 令和5年度 指定管理者年度評価シート

#### 4 管理運営状況の評価（1次評価）

##### (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	118.8%	A	

##### (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>○ 光熱水費の料金が上がり、職員だけでなく利用者の皆様、専用使用の武道団体の皆様も光熱費の節約にご協力いただきました。申し訳ありませんが、道場の照明も全点灯せず、1割程度間引きさせていただき、会議室や事務室の蛍光灯も間引きしました。一方弓道場に関しては、誤射の心配があるので、照明は間引くことができませんでしたが、昨年度、的場の照明をLED照明に切り替えたので、電気代の削減は実現できています。</p> <p>○ 大会や昇級審査は、ホームページ（サイト）をご覧いただき、申し込みをメールでいただくなど、郵送代、紙代、電話代を節約し、さらに申込用紙の様式は、参加者名簿や剣道連盟登録者名簿をそのまま転記できる様式を採用して、作業効率と正確性向上を実現しました。一方、IT環境にない世代の方について、紙媒体での掲示や、参加勧奨の郵送の案内は継続しました。</p> <p>○ 競技団体との連携、業者との連絡についてもメール主体としました。</p> <p>○ 競技団体には、大会等の全体の経費削減にもご協力いただきました。会議室、講師控室、応接室の利用は事前に申し込みいただき、必要最小限にお願いしました。さらに修道館の自主事業では、終日であった開催時間を、午前中だけ、あるいは午後だけに時間短縮し、大会での利用を短縮して、予約の余裕をつくりました。</p> <p>○ 職員間も紙媒体での情報交換は最小限とし、ラインやメール送信やパソコン内の閲覧を推奨し、社内でも徹底的に無駄を省きました。備品はもちろん、消耗品など「もの」を大切に扱う精神を養い、年少の利用者（練習生）にも指導者として範を示しております。</p>	B	

##### (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

# 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 5 利用者ニーズ・満足度等

○ 昨年度から継続している取り組み  
 ご利用の方からのご質問、ご意見をお聞きすることをまず第一としました。館内で気づかれたこと、疑問に思ったことを口頭でもすぐお教えいただけるよう、お答えさせていただけるよう、話しやすい受付の接遇を心がけております。アンケートに書くほどではないけれど、施設の存在自体、管理者に感謝している、また、指導の先生によりしくお伝えください、という感想を述べる利用者の方も複数おられました。 大阪市のスポーツ施設に係るアンケート調査を長期間実施し、自由記入欄の記載内容を参考としました。

○ 特に参加者の多い、四武道、いわゆる柔道・剣道・なぎなた・弓道については、大阪府柔道連盟・公益社団法人大阪剣道連盟・大阪なぎなた連盟・大阪弓道連盟の四団体の独自の意見集約をいただき、競技団体からのご意見として尊重しました。 その他、ご利用が多い、合気道、空手、杖道、柔術、古武道関係では、貸館の際に、参加会員からの自由なご記入による大阪市の施設アンケートのご利用をいただきました。

○ 専用使用の料金の銀行振込やカード払いが可能となったこと件、酷暑であった夏季における空調のある会議室を開放したことなど、ご意見やご質問からいち早く施設の現状をお教えいただき、施設の安全管理上大きな寄与をいただきました。

○ 施設の満足度について大阪市のアンケート結果は以下のとおり、両館ともに9割を超えており、令和4年度の満足度も上回っています。修道館 非常に満足している(68%) 満足している(27%) 合計 95% ←04年度84%弓道場 非常に満足している(49%) 満足している(44%) 合計 93% ←04年度82%

○ 昨年度の夏季が酷暑であったことについて 日中午後開催の教室の参加者の方につきましては、エアコンのある会議室を開放して来館時や稽古の合間に、休憩して体温の調節をしていただきました。

○ 専用使用(貸館)の料金支払いについて 現金払いが原則でしたが、利用者の便宜を図ってクレジットカードや交通系カードによる支払ができることとしました。遠隔地(滋賀・東京などの競技団体事務局)からの申し込みについては銀行振り込みができるようにしました。

○ また駅から不便なこと、虫が多いこと、などの記載に関しては、施設だけの問題ではないので、ご理解いただきますようお願いしつつ、ホームページでの来館経路の紹介や、専門家による害虫駆除を実施しました。昨年度と同様、ご要望・ご意見に対する施設側の対応をきっかけに、ご利用者の皆さんと管理者、さらに関係競技団体との意見交換が進み、施設のより良い環境整備につながっていると考えます。

## 6 外部専門家意見

猛暑等の影響により、夏期を中心に利用者数が減少し利用料金収入で前年を下回る中、多様な目的での施設利用や武道振興にかかる企画を実行することで、自主事業収入が昨年に比べ増加している点は評価できる。利用収入減を踏まえ、長期的な利用者数増に向けた取り組みも、来年度以降より求められるだろう。

同時に、人件費・物件費など昨今の状況を踏まえ、経営的にさらなる工夫が必要である。光熱費や事業費削減のための様々な運営上の努力は認められるが、昨年より実績値で大幅に増加している。また、経費についても昨年より増加しているため、費用に関する増加の原因と分析を行い、継続的な費用削減計画の取り組みに期待したい。収支計画に関しては、年度ごとの見直しが必要であると考えられるため、適正化に努めていただきたい。

引き続き武道の普及活動に取り組みいただき、報告書に記された「大阪の武道の殿堂」と認知されるブランド力強化にも期待したい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

## 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪城弓道場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	弓道場は、市民の健康増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、なぎなたや弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		81.0%
達成率		101.3%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,612	16,098	109.4%
稼働率			

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	9,199,030	9,207,060	0	
	計画	9,199,030	9,207,060		
利用料金収入	実績	6,494,850	6,007,250	-855,150	熱中症警戒アラートにより、夏の利用者が減少した
	計画	7,350,000	7,350,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	3,487,842	3,398,173	-392,158	
	計画	3,880,000	3,880,000		
合計	実績	19,181,722	18,612,483	-1,247,308	
	計画	20,429,030	20,437,060		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	16,692,537	13,546,950	6,525,737	職員配置変更によって増となったが職員は柔軟に行き来している
	計画	10,166,800	10,166,800		
物件費	実績	7,891,673	8,657,180	121,673	
	計画	7,770,000	7,770,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	604,542	795,769	-1,076,658	
	計画	1,681,200	1,681,200		
合計	実績	25,188,752	22,999,899	5,570,752	
	計画	19,618,000	19,618,000		

### 令和5年度 指定管理者年度評価シート

#### 4 管理運営状況の評価（1次評価）

##### (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	101.3%	B	

##### (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>○ 光熱水費の料金が上がり、職員だけでなく利用者の皆様、専用使用の武道団体の皆様も光熱費の節約にご協力いただきました。弓道場に関しては、誤射の心配があるので、照明は間引くことができませんでしたが、昨年度、的場の照明をLED照明に切り替えたので、電気代の削減は実現できています。</p> <p>○ 大会や昇級審査は、ホームページ（サイト）をご覧いただき、申し込みをメールでいただくなど、郵送代、紙代、電話代を節約し、さらに申込用紙の様式は、参加者名簿や剣道連盟登録者名簿をそのまま転記できる様式を採用して、作業効率と正確性向上を実現しました。一方、IT環境にない世代の方について、紙媒体での掲示や、参加勧奨の郵送の案内は継続しました。</p> <p>○ 競技団体との連携、業者との連絡についてもメール主体としました。</p> <p>○ 競技団体には、大会等の全体の経費削減にもご協力いただきました。会議室、講師控室、応接室の利用は事前に申し込みいただき、必要最小限をお願いしました。さらに修道館の自主事業では、終日であった開催時間を、午前中だけ、あるいは午後だけに時間短縮し、大会での利用を短縮して、予約の余裕をつくりました。</p> <p>○ 職員間も紙媒体での情報交換は最小限とし、ラインやメール送信やパソコン内の閲覧を推奨し、社内でも徹底的に無駄を省きました。備品はもちろん、消耗品など「もの」を大切に扱う精神を養い、年少の利用者（練習生）にも指導者として範を示しております。</p>	B	

##### (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

# 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 5 利用者ニーズ・満足度等

○昨年度から継続している取り組み  
 ご利用の方からのご質問、ご意見をお聞きすることをまず第一としました。館内で気づかれたこと、疑問に思ったことを口頭でもすぐお教えいただけるよう、お答えさせていただけるよう、話しやすい受付の接遇を心がけております。アンケートに書くほどではないけれど、施設の存在自体、管理者に感謝している、また、指導の先生によりしくお伝えください、という感想を述べる利用者の方も複数おられました。 大阪市のスポーツ施設に係るアンケート調査を長期間実施し、自由記入欄の記載内容を参考としました。

○特に参加者の多い、四武道、いわゆる柔道・剣道・なぎなた・弓道については、大阪府柔道連盟・公益社団法人大阪剣道連盟・大阪なぎなた連盟・大阪弓道連盟の四団体の独自の意見集約をいただき、競技団体からのご意見として尊重しました。その他、ご利用が多い、合気道、空手、杖道、柔術、古武道関係では、貸館の際に、参加会員からの自由なご記入による大阪市の施設アンケートのご利用をいただきました。

○専用使用の料金の銀行振込やカード払いが可能となったこと件、酷暑であった夏季における空調のある会議室を開放したことなど、ご意見やご質問からいち早く施設の現状をお教えいただき、施設の安全管理上大きな寄与をいただきました。

○ 施設の満足度について大阪市のアンケート結果は以下のとおり、両館ともに9割を超えており、令和4年度の満足度も上回っています。修道館 非常に満足している(68%) 満足している(27%) 合計 95% ←04年度84%弓道場 非常に満足している(49%) 満足している(44%) 合計 93% ←04年度82%

○ 的場の安土が固いという声について 平常は的の近辺だけをほぐして、的の付け替えを行っています、さらに的の的中や上部は固くなっており、的を外した矢を抜きにくいという声がありました。 まず、河内長野にある木工場から木くずをわけていただき、修道館職員の出身大学柔道部学生10名程度をアルバイトに頼んで、毎週月曜日夜間、利用者が射を行わない弓道教室の時間に安全に木くずを混ぜて安土全体をほぐしました。「個人利用の時間帯を1日も休まずに整備してくれたのがありがたい。」「柔らすぎるくらい」「矢が抜きやすい」と利用者から評価されました。

○ 利用料金、特に高額になる専用使用や弓道教室の料金支払いについて 現金払いが原則でしたが、利用者の便宜を図ってクレジットカードや交通系カードによる支払ができることとしました。

○昨年度の夏季が酷暑であったことについて 本来、有料である会議室について専用使用がない場合は、冷房を効かせて一部を無料開放することにより、利用者が体温調整できるように配慮しました。 昨年度からのご要望・ご意見に対する施設側の対応をきっかけに、ご利用者の皆さんと管理者、さらに関係競技団体との意見交換がさらに進み、施設のより良い環境整備につながっていると考えます。また、1館での要望やご意見が、両館の業務改善につなげるなど、両館合同で業務を改善し、利用者サービスの向上に努めました。

## 6 外部専門家意見

熱中症アラートや、屋外という施設特性もあり夏期の利用増加が困難な中、昨年比で利用料収入・事業収入ともに増加しており、施設利用料のキャッシュレス対応をはじめ、利用者や関係団体からの意見を取り入れた運営は評価できる。

教室のキャパシティの観点から弓道教室事業の増員は難しいとのことだが、継続して教室事業の魅力向上や競技普及に努め、収入の計画値達成に向けて、改めて事業計画をしていただきたい。

人件費において、観光客に対する安全対策や賃金上昇もあり昨年度から大幅に増加している。他施設との職員の流動性があり、支出に関しても流動的とのことだが、改めて適正な事業運営、また公共施設を運営するという観点からも、精緻な収支計画は重要である点は留意いただきたい。

・利用料金収入については夜間利用も減少傾向にあり、利用者数を増やす取り組みが必要である。また、費用の大半を占める人件費を削減するために、シフトの効率化や適切な職員配置等に取り組んでいただきたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	